

科目名 (科目番号)	身体機能発達学 (061151)	教員名 小林 聖美	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		水・6	A316研究室(小林)	
授業概要	乳幼児期の心身の機能や形態の変化を解説する。運動機能については歩行までの質的な変化を解説する。摂食・嚥下機能、言語発達、認知機能の発達についても解説する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	人間発達とは	到達目標:横断的研究法と縦断的研究法を理解する。 学習内容:代表的な発達理論、研究法の概要を学習する。				
	2	身体的発達	到達目標:身体的発達を理解することが理学療法にどのように役立つかを理解する。 学習内容:乳児期・幼児期・学童期・青年期・成人期での身体的発達を学習する。				
	3	粗大運動機能の発達	到達目標:運動発達について、量的・質的な面から理解する。 学習内容:用語・運動発達の原則、粗大運動発達過程について学習する。				
	4	座位の発達	到達目標:座位とADL(日常生活動作)との関連を理解する。 学習内容:座位ができるためにはどのような運動の要素が関連しているかを学習する。				
	5	上肢機能の発達	到達目標:把握機能について理解する。 学習内容:上肢各関節の機能について学習する。				
	6	摂食・嚥下機能の発達	到達目標:姿勢と摂食・嚥下について理解する。 学習内容:健常児の摂食・嚥下について学習する。				
	7	言語機能の発達	到達目標:言語機能の発達過程を理解する。 学習内容:発声に関する基本的な口腔機能について学習する。				
	8	認知機能の発達	到達目標:乳児期の外界との関わりについて興味を抱く。 学習内容:ピアージェの認知の初期発達について学習する。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	期末試験(90%)、レポート(10%)を総合して、60%以上を合格とします。						
教科書	教科書は使用しません。授業のまとめを配布します。						
参考図書	生涯人間発達(改訂第2版)	上田礼子 著	三輪書店				
教員からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・初回授業でこの授業の組み立てを説明します。 ・初回到8回分の授業のまとめを配布します(変更がある場合は事前に連絡します。) ・デモンストレーションを取り入れた授業にします。 ・レポートはコメントを付して授業内で返却します。 						